

技術研究組合から株式会社への組織変更の認可について －株式会社化の第1号案件－

平成26年6月
経済産業省 技術振興課

経済産業省は、グリーンフェノール・高機能フェノール樹脂製造技術研究組合（略称：GP 組合）の株式会社への組織変更の申請について、技術研究組合法に基づき、平成26年5月27日付けで認可しました。技術研究組合から株式会社への組織変更は、今回が初めての案件です。

1. 技術研究組合について

技術研究組合は、複数の企業や大学等が共同して試験研究を行うために、技術研究組合法に基づき、大臣認可により設立される法人です。技術研究組合は、税制での優遇措置を受けられる等の特徴があります。

平成21年度の技術研究組合法の改正により、研究開発終了後に技術研究組合を解散することなく、技術研究組合を株式会社等に組織変更することで、研究開発成果をそのまま実用化することができるようになりました。

2. GP 組合から株式会社への組織変更について

GP 組合から申請のあった株式会社への組織変更について、技術研究組合法に基づき、平成26年5月27日付けで認可しました。株式会社への組織変更は、平成21年度の法改正以来、初めての案件です。

新会社であるグリーンフェノール開発株式会社は、GP 組合において開発したグリーンフェノールの生成等の基盤技術を活用し、グリーンフェノールの製造事業を行います。なお、本件は、NEDOから受託した研究開発事業「平成21～22年度グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤研究技術開発」の成果を活用したものです。

(1) GP 組合の概要（別紙1参照）

設立年月日	平成22年2月15日
理事長	小川 富太郎（住友ベークライト(株)代表取締役会長）
組合員	住友ベークライト株式会社 公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）
研究概要	植物資源（非可食）の糖類と遺伝子組換え微生物（RITE 菌）を活用した合成樹脂原料のグリーンフェノールの生成・グリーンフェノール樹脂の製造技術開発

(2) 組織変更後の株式会社の概要

商号	グリーンフェノール開発株式会社
所在地	京都府木津川市
代表取締役	小川 富太郎(住友ベークライト(株)代表取締役会長)
事業内容	グリーンフェノール生産プロセスの実証事業 グリーンフェノールの製造・販売

<参考:認可書交付の様子>

経済産業省技術振興課長 牧野から、グリーンフェノール開発株式会社の小川代表取締役社長に、組織変更認可書を交付いたしました。



グリーンフェノール・高機能フェノール樹脂製造技術研究組合(略称:GP組合)の概要

(別紙1)

設立年月日:平成22年2月15日

理事長:小川 富太郎(住友ベークライト(株) 代表取締役会長)

組合員:住友ベークライト(株)、(公財)地球環境産業技術研究機構(1企業、1公的研究機関)

事業の概要:グリーンフェノール及びこれを原料としたグリーンフェノール樹脂製造に関わる基盤技術開発

組合設立の目的:

グリーンフェノールは、高機能性樹脂として期待されているが、糖類からフェノールを生成することは、既存の醗酵法では経済的生産が難しいと言われている。

「増殖非依存型バイオプロセス」の基本技術を保有する(公財)地球環境産業技術研究機構と、フェノール樹脂製造に関する技術を保有する住友ベークライト(株)が協同することで、世界初となるグリーンフェノールの生成およびグリーンフェノール樹脂製造に関わる基盤技術を開発する。

具体的には、植物資源(非可食)から取り出した糖類(C6糖・C5糖)から、遺伝子組換え微生物(RITE菌)を触媒とする発酵により、フェノールを生成し、フェノール樹脂を製造する。

研究開発成果・実用化による効果:

グリーンフェノール生成及びその樹脂化の製造プロセスの基盤技術を確立。

フェノール樹脂の原料を石油からバイオマスに転換・高機能フェノールの製造が可能となり、二酸化炭素の排出抑制及び化学産業・化学製品のグリーン化が促進される。

